

# 色づく紅葉 輝く笑顔



町内参加者最高齢の  
大友國男さん(80歳)

今までは、大会審判長として運営側にいましたが、今年はランナーとして参加しました。野口みずきさんと一緒にゴールができて、私の一生の思い出です。

## 秋空の下 声援を力に完走

10月2日、第20回つべつ紅葉マラソン大会が開催されました。20回の節目を迎える今年大会では、3歳から80歳代まで町内外から289人が参加。また、ゲストランナーとして、アテネ五輪女子マラソン金メダリストの野口みずきさんが参加しました。

開会式では、大会長の佐藤町長が「本日は気温が寒くなりましたが、体に気を遣いながら頑張ってください」と挨拶。続いて今年から大会実行委員長を務めている佐野成昭さんが「スタッフ一同、朝早くから安全安心に走れるように整備をしています。また、ランナーの皆さまも良い結果が出ますよう期待していますので怪我の無いように頑張ってください」と激励しました。選手宣誓では、ランナーを代表して相馬皓斗さんが「豊かな自然、おいしい空気、気持ちの良い風を感じながら紅葉のきれいな津別町のマラソンコースをゴールを目指して走り抜くことを誓います」と力強く宣誓しました。

開会式終了後は、ハーフ・10キロ・5キロ・3キロコースの各スタート地点に分かれ、午前10時にスタートの合図とともにゴールの津別小学校グラウンドを目指し、走り出しました。ゲストランナーの野口さんは5キロコースに参加。ランナーたちに声を掛けながら、自らも軽快に走り抜けました。野口さんは、ゴールに入ってくるランナーに声援を送ったり、完走後のランナーとの記念撮影など大会を盛り上げました。

## ゴール後は カレーや抽選会を楽しむ

3年振りに復活した名物でもあるゴール後のカレーライス。ゴールしたランナーたちが次々と並び、あつという間に行列ができました。親子や仲間同士などでカレーを食べた参加者たちは、走った後の疲れが癒され、自然と笑顔を見せました。

また、恒例となっているお楽しみ抽選会では、景品として町の特産物などがあり、参加者はさまざまな形でつべつ紅葉マラソン大会を楽しみました。

## ゲストランナー野口みずきさんへインタビュー

### 津別町のマラソン大会に参加してどうでしたか？

皆さんとの距離が近く、すごくアットホームな感じがしました。5キロスタートの一番後ろからスタートして、子どもたちを追い越したときに、「すごい」「速い」などと驚きの声を上げてくれたことが嬉しかったです。走ることに對する楽しさを改めて感じました。

### 津別町の皆さまに一言

走ることはスポーツの原点でもあり、走ることを通して健康維持や、スポーツの発展に繋がるので、これからも続けてほしいと思いました。

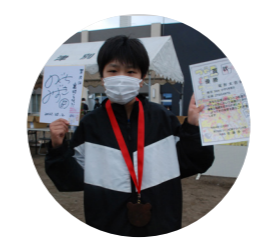


野口みずきさん



篠原 友栄さん  
5キロ一般女子40歳以上

木のメダルをもらいたくて、1位を目指して頑張りました。



尾形 太吉さん  
5キロ小学5年生男子

優勝して嬉しいです。走っているときは無心で頑張りました。



柏木 希音さん  
3キロ小学2年生女子

楽しかったです。優勝できると思っていないので嬉しいです。



迫田 楓さん  
3キロ小学2年生男子

優勝して嬉しかったです。1位を目指して頑張りました。



澤向 希胡さん  
3キロ小学1年生女子

優勝して嬉しいです。走っているときは疲れたけど、頑張れました。



## 種目別優勝者を 一部ご紹介！

- ①名前
- ②種目
- ③コメント